

科目ナンバリングについて

1. 科目ナンバリングとは

授業科目の学問分野、科目水準等の内容を示す番号を振り分類をすることにより、教育課程全体の体系性を分かり易く明示する仕組みである。

2. 導入により期待される効果

- (1) 各授業科目に授業の学問分野、科目水準・性格、位置づけの記号・番号を振ることにより、学生が履修計画を立てる際に、教育課程全体の中の授業科目の位置づけや分類を把握したうえで履修科目を選択することができる。
- (2) 他学科の授業科目の履修を希望する場合、他学科の教育課程の体系性の理解が容易となり、学生の主体的な学修をうながすことが可能となる。
- (3) 学科の教育課程が、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに相応しい科目構成であるか、順次性のある体系的な教育課程を構築できているか、カリキュラム・ツリーとあわせ科目ナンバリングによる授業科目の位置づけ、分類等を点検することにより、学生に体系的な教育課程の提供が可能となる。

3. 科目ナンバリングの構造

<u>ABC</u>	<u>D1</u>	<u>2</u>	<u>3</u>	<u>45</u>	<u>6</u>
①	②	③	④	⑤	⑥

- ① 学問分野
- ② 基盤科目・資格関係科目・学部・研究科、学科・専攻番号
- ③ 科目区分
- ④ 科目水準
- ⑤ 整理番号
- ⑥ 履修形態

①学問分野

アルファベット 3 文字（科研細目表の分類を参考）

学科・学部、研究科・専攻ごとにコード表を作成

②学部・研究科 学科・専攻番号

(1) 学部・研究科番号（アルファベット 1 文字）

A	基盤科目、資格関係科目 等	F	家政学研究科
B	家政学部	G	文学研究科
C	文学部	H	人間生活学研究科
D	人間社会学部	I	人間社会研究科
E	理学部	J	理学研究科
K	国際文化学部		
L	建築デザイン学部	M	建築デザイン研究科
N	食科学部		

※基礎科目、教養科目等の基盤的科目や資格関係科目等の学部共通科目の分類を含む

(2) 学科・専攻番号（基盤的科目などの開講キャンパス区分を含む）

1	目白キャンパス	1	児童学科	1	日本文学科
2	西生田キャンパス	2	食物学科（食物学専攻）	2	英文学科
3	キャンパス共通	3	食物学科（管理栄養士専攻）	3	史学科
		4	住居学科（居住環境デザイン専攻）		
		5	住居学科（建築デザイン専攻）		
		6	被服学科		
		7	家政経済学科		

1	現代社会学科	1	数物情報科学科	1	児童学専攻	1	日本文学専攻
2	社会福祉学科	2	化学生命科学科	2	食物・栄養学専攻	2	英文学専攻
3	教育学科	1	国際文化学科	3	住居学専攻	3	史学専攻
4	心理学科	1	建築デザイン学科	4	被服学専攻		
5	文化学科	1	食科学科	5	生活経済専攻		
		2	栄養学科				

1	人間発達学専攻	1	社会福祉学専攻	1	数理・物性構造科学専攻
2	生活環境学専攻	2	教育学専攻	2	物質・生物機能科学専攻
		3	現代社会論専攻	1	建築デザイン専攻
		4	心理学専攻		
		5	関連文化論専攻		

③科目区分

1	教養特別講義
2	基礎科目
3	教養科目
4	基本科目・展開科目
5	JWUキャリア科目・JWU社会連携科目
6	学部共通科目
7	学科科目
8	資格関係科目
9	外国人留学生科目・交換留学生科目

④科目水準

1	大学1年次レベル
2	大学2年次レベル
3	大学3年次レベル
4	大学4年次レベル
5	大学院単位互換レベル
6	修士課程レベル
7	博士課程レベル

⑤整理番号

2ケタ表示で順に通し番号を付ける

⑥授業形態

1	講義
2	演習
3	実験
4	実習／実技
5	卒業論文／卒業研究／卒業制作／論文指導／研究指導
6	その他

【注意】科目ナンバリングコードは、学生が登録の際に使用している「授業コード」とは異なることを明記する
シラバスに、科目ナンバリングコードを掲載